

吉野川市国語研究会のあゆみ

1 本市の状況

吉野川市小学校教育研究会国語部会は、14校19名の部員が、日々の授業を大切にする実践研究に取り組んでいる。51回目となる今年度の夏季国語教育研究会は、川田小学校を会場に40名余りの参会者を迎えて開催された。

2 研究組織

[係校長] 武知 文子 (種野小)
[係教頭] 桑原 淳二 (西麻植小)
[部会長] 岡田 美和子 (飯尾敷地小)
[副部会長] 松尾 芳江 (上浦小) [会計] 宇山 真里 (種野小)

3 研究経過

(1) 研究主題

主体的・自覚的にことばを学ぶ子どもが育つ国語科授業の創造
「読むこと」を基盤に、知識・技能の習得と活用する力の育成を図る学習指導

(2) 研究内容

第1回国語部会(4月16日、鴨島第一中学校)
役員・組織の決定、研究主題・研究計画の検討

第2回国語部会(7月8日、川田小学校)
夏季国語教育研究会事前検討・打ち合わせ会

第51回吉野川市小学校夏季国語教育研究会(7月18日、川田小学校)
[研究授業] 川田小学校 緒方 美保 教諭 第1学年「えにっきをかこう」
ア 指導者による本単元の主な評価

国語への 関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	言語事項
・楽しんで話題を見つけ、 友達に伝えるために絵 日記をかこうとしている。 ・友達の発表や絵日記に 興味をもっている。	・自分が伝えたいこ とを、相手に分か るように話してい る。 ・友達の話を興味を 持って聞してい る。	・自分が伝えたいこ とが、相手に伝わるよ うに書いている。 ・説明ができるように する。	・ひらがなの表記(促 音・長音・拗音・ 助詞は・を・へ等) に気をつけて書い ている。

イ 本時の目標

昨日からのできごとの中で、友達に伝えたいことを絵日記にかくことができるようにする。

ウ 研究協議、指導

- ・口頭作文として絵日記を書かせることの良さは、絵日記は絵があるので書くポイントがずれないことである。
- ・口頭作文は、したこと、見たこと、聞いたことが中心。絵日記にすると調べたことが加わる。また、読んだことや考えたことも加えて書く習慣をつけていくことを、指導者として拓いていかなければいけない。
- ・子どもの日記への朱書きは、子どもの興味・関心が広がっていくような問いかけや子どもが書き足りな

かったことを書いて子どもと対話しているつもりで書く。

[講演] 元鳴門教育大学教授 橋本暢夫先生 演題「自己学習力をどのように育てるか」

ア 低学年の学習における単元学習

児童一人ひとりの能力や性質，言語環境などの違いに応じる指導は単元学習である。個人差を大切に
して，生活と結びつけて書かせることが必要である。

イ 書くことの基底

観察力・思考力・記述力である。特に観察力を育てる。

ウ 学力の質向上に欠かせないものは競争ではなく自己評価力を育てることである。

第4回国語部会（11月13日，西麻植小学校）

[研究授業] 西麻植小学校 高田 美紀教諭 第1学年「しらせたいな 見せたいな」

講師 美馬市芝坂小学校 校長 上田 正純先生

ア 指導者による本単元の主な評価

国語への 関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	言語事項
・友達に知らせたいもの を見つけている。 ・文章や俳句で，自分の 伝えたいことを表現す ることを楽しんでいる。	・自分が伝えたいこ とを，相手に分か るように話してい る。 ・友達の話を興味を 持って聞いている。	・知らせたいことや見 せたいことを考えな がら相手に分かるよ うに書いている。 ・書こうとする題材に 必要な事柄をよく観 察して書いている。 ・自分が知らせたいこ とを順序を考えて書 いている。 ・自分が書いた文を読 み直す習慣をつけ， 間違いを見つけてい る。	・句点に注意して文 を書いている。

イ 本時の目標

俳句という日本の伝統文化に親しむ態度を育てる。

「見つけたカード」で見つけた様子を俳句に表し，発表することができる。

この学習活動を通して，次の力が身に付くことが期待できる。

- ・相手を見ながら話す。 ・知らない人の前でも話すことができる。
- ・気持ちよく，調子のよい声で話すことができる。
- ・相手の顔を見ながら静かに聞くことができる。
- ・自分の行動や身の出来事などについて，俳句を作ることができる。

ウ 研究協議，指導

- ・五感をつかってメモしていたことを生かして，全員が楽しく俳句作りができた。
思いが伝わってくる俳句の紹介をしたことで子どもの俳句に広がりができた。
- ・俳句指導のポイント
 - * 俳句作りのパターンを知る。 * 子ども俳句の秀作を紹介する。
 - * とにかくほめる。（低学年はとくにほめることが意欲につながる）
- ・物語教材の感想に俳句作りを活用すると，文章の要約力がつく。
- ・季語を通して日本の四季や自然に気付かせることができる。

（飯尾敷地小教諭 岡田 美和子 記）